

JICA 一般公開セミナー実施報告書

公益社団法人日本柔道整復師会
国際部 部長 萩原 隆

下記の日程で上記、JICA 一般公開セミナーを実施いたしましたので報告いたします。

日 時:平成26年3月1日(土)14:00~16:00 受 付:13:30

場 所:モンゴル・日本人材開発センター 1階多目的ホール

テーマ:ケガの応急処置について — 日本伝統治療(柔道整復術)を用いて —

主 催:公益社団法人日本柔道整復師会

共 催:JICA モンゴル事務所、モンゴル国立医科学大学、モンゴル国立医科学大学附属看護学校

後 援:在モンゴル日本大使館、モンゴル国保健省、モンゴル国教育文化科学省

協 力:モンゴル・日本人材開発センター

司会:根来 信也

14:05 — 14:20 来賓挨拶

- ① 在モンゴル日本大使館 臨時代理大使 林 伸一郎 様
- ② モンゴル JICA 事務所 所長 加藤 俊伸 様

14:20 — 14:25 来賓紹介

- ① モンゴル国立医科学大学 大学院 教授 D.アマルサイハン先生
- ② モンゴル JICA 事務所 ナショナルスタッフ オユンツェツェグ様
- ③ モンゴル国立医科学大学 附属看護学校

研究所長 臨床科責任者 バイガル先生
教師 デルゲルマ先生



写真1 ご挨拶

在モンゴル日本大使館 臨時代理大使 林 伸一郎 様



写真2 ご挨拶

モンゴル JICA 事務所 所長 加藤 俊伸 様

14:25 — 14:42 開催主旨説明 公益社団法人 日本柔道整復師会 本間 琢英
派遣者・指導者候補紹介
普及員紹介:モンゴル各アイماغより選出されたバグ医師など
協力学生紹介:モンゴル国立医科学大学付属看護学校 ファーストエイドクラブ

14:42— 14:45 来賓挨拶
モンゴル国保健省 インヒドル 様

14:45 — 15:50 シンポジウム

① 本プロジェクトの経緯ならびにモンゴルにおける医療状況について
モンゴル国立医科学大学付属 看護学校

研究所長 臨床科責任者 バイガル 先生

② 柔道整復術の紹介、ケガの応急処置について(実技を含む)

公益社団法人 日本柔道整復師会 本間琢英・金井英樹・根來信也・河村亞希
・横田良介・酒井重数

モンゴル人柔道整復術指導者候補 エンフタイワン・トゥブシンバイル



写真3 ご挨拶 モンゴル国保健省 インヒドル 様



写真4 シンポジスト バイガル先生



写真5 三角巾による応急処置実演



写真6 三角巾による応急処置練習

15:50 — 15:55 質疑応答

15:55 — 16:00 閉会の辞 公益社団法人 日本柔道整復師会 河村 亞希

日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクトの一環として、上記セミナーを開催した。ウランバートルの医療関係の大学、モンゴル・日本人材開発センター、JICA モンゴル事務所のご協力、在モンゴル日本大使館、モンゴル国保健省からの来賓者もあり、参加者数は約180名であった。モンゴル国保健省のご挨拶では、外傷医療を含んだ医療改革について触れ、シンポジウムではカウンターパートから、モンゴル国における医療機関についての現状、保健分野の改革課題、そして日本柔道整復師会の活動とともに、柔道整復術の必要性を報告された。我々からは、実際の脱臼整復場面上映し、三角巾を用いての応急処置を参加者同士で練習を行った。

終了後に、青年海外協力隊隊員(理学療法士・保健師等)、大使館外交官補等と意見交換の機会を設ける事ができ、横の連携が重要であり、今後も情報を共有できるように取り組んでいきたい。

また、一般市民、私立体育大学関係者、柔道整復師を志望する高校生からの問い合わせがあり、柔道整復術がモンゴル国に普及・関心が進んでいることが示唆された。



写真7 一般市民からの質問



写真8 柔道整復師志望の高校生

今後も創意工夫しケガへの応急処置の重要性を啓発していく予定である。なお、本セミナー開催にあたり、関係各位に深謝いたします。